

三 再 第 4 号
平成 2 2 年 2 月 3 日

千葉県知事 鈴木 栄 治 様

三 番 瀬 再 生 会 議
会 長 大 西 隆

平成 2 2 年度千葉県三番瀬再生実施計画（案）について（意見）
平成 2 2 年度千葉県三番瀬再生実施計画（案）について、下記のとおり意見を述べます。

1 . 実施計画（案）の修正について

実施計画（案）については、別表のとおり修正を加えること。

2 . 事業実施に当たって留意すべき事項について

(1) ラムサール条約湿地登録について

ラムサール条約ワーキンググループの検討をふまえ、再生会議において、海を生かした街づくり、持続可能な漁業の継続などラムサール条約湿地登録のメリットに重点を置いた検討を行うことによって、ラムサール条約湿地登録を加速すること。

(2) 江戸川放水路について

再生会議においては、江戸川放水路ワーキンググループで、国や県が保有する情報を整理し、洪水時の江戸川放水路からの放流による三番瀬への悪影響を緩和するための行徳可動堰の改修・運用に対する検討を行うことにしており、これを踏まえ、県は国に対し必要に応じて意見を述べること。

別表

平成22年度三番瀬再生実施計画（案）に対する意見

節名・事業名 実施計画（案）該当 頁	平成22年度三番瀬再生実施計画（案）	三番瀬再生会議の修正意見 （下線部が修正箇所）
2節 生態系・鳥類 3 生物多様性の 回復のための 目標生物事業 （4頁）	<p>そこで、三番瀬再生会議や個別検討委員会等の専門家のアドバイスを聞きながら、引き続き、目標生物種の選定を進め、各種検討委員会等において具体的な再生事業の検討における重要な要素の一つとして取り扱われるよう、情報の共有を図っていきます。</p>	<p>そこで、三番瀬再生会議や個別検討委員会等の専門家のアドバイスを聞きながら、<u><挿入>また、三番瀬再生のランドデザインづくりの進捗を踏まえ、</u>引き続き、目標生物種の選定を進め、各種検討委員会等において具体的な再生事業の検討における重要な要素の一つとして取り扱われるよう、情報の共有を図っていきます。</p>
3節 漁業 1 豊かな漁場への改善方法の検討 （5頁）	<p>そこで、海洋・漁業の専門家、漁業者、地元住民等で組織する「三番瀬漁場再生検討委員会」の議論を踏まえ、干潟や潟などの具体的な漁場再生手法についてのシミュレーションなどを行い、その効果と影響を検討します。 また、ノリの生産に… <以下略></p>	<p>そこで、<u><挿入>その他の漁業関連事業や三番瀬における最新の調査結果も参考にして、</u>海洋・漁業の専門家、漁業者、地域住民等で組織する「三番瀬漁場再生検討委員会」の議論を踏まえ、干潟や潟などの具体的な漁場再生手法についてのシミュレーションなどを行い、その効果と影響を検討します。 また、ノリの生産に… <以下略></p>
10節 再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進 2 ラムサール条約への登録促進 （35頁）	<p>谷津干潟と三番瀬との連携を考慮したラムサール条約登録に向けての合意形成が図られるよう、登録の前提となる国指定鳥獣保護区特別保護地区指定に係る利害関係人等関係者及び関係機関との協議・調整を進めます。</p>	<p><u>既にラムサール条約湿地となっている谷津干潟との連携を図りつつ、後背湿地としての役割を發揮することが期待されている行徳湿地とともに三番瀬のラムサール条約登録に向けての合意形成が図られるよう、登録の前提となる国指定鳥獣保護区特別保護地区指定に係る利害関係人等関係者及び関係機関との協議・調整を進めます。</u></p>